

# 核兵器廃絶

宣言文を朗読する永桶さん(手前)と仲治さん



## 核兵器廃絶と

### 平和への願いを表す

10月11日町民センターで『核兵器廃絶平和の町』宣言記念式典が行われ、町民約60人が集まりました。

この宣言は、合併前の旧早来と追分の両町がそれぞれ行っていました。安平町として宣言することを今年6月の定例議会で議決。日本国憲法で掲げた平和希求の精神を語り継ぎ、再び戦争の惨禍が起ることのないよう町民の

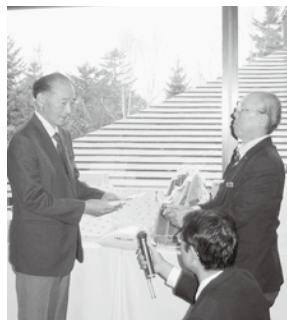
総意を表したものです。

式典では、今年広島市に派遣された早来中3年生の永桶里佳さんと追分中2年生の仲治茜さんが宣言文を朗読。パネルにしたものは、役場両庁舎と各公民館に掲示されています。

最後に、自らも被爆しながら人が人の看護や救援などに当たった服部十郎さんの講話と、「人間を返せ」という原爆投下後の状況を収録したビデオが上映。特に服部さんの講話では、参加された方々も真剣なまなざしで聞かれていました。

## チャリティの益金を寄付

10月26日にANAダイヤモンドゴルフクラブを運営する菱空リゾート開発株がチャリティゴルフ大会での益金を安平町社会福祉協議会に寄付しました。参加者からいただいた善意のお金は福祉のために使われるとのこと。



## 得意分野は伸ばし、苦手なことには支援

「発達障がい」ってなあに？」をテーマに10月15日に町民センターで学習会が開催され、子どもの発達に悩みを持つ家族や支援者など約120名が参加しました。

講師は北海道平取養護学校



話しをする塩崎先生

塩崎剛先生。配布資料をもとに専門用語の解説やさまざまな事例を紹介しました。

塩崎先生は現役の教師で、多くの子どもと接し「生徒ひとり一人の苦手と得意の分野を見極め、得意なところを伸ばし、苦手なところには適切に支援すること」を強調し、家族も子どもの側に立つて考えることも必要と言います。

養護学校では、発達に課題がある子には失敗経験からくる自信喪失と無気力感を植え付けられないように心がけているとのこと。

## 創立15周年を祝う

創立して15周年を迎えた追分ぶき太鼓保存会が10月18日に記念セレモニーを追分公民館で行いました。

この会は、旧追分町で開基百年を機に地域に日本の伝統文化を残したいという有志たちにより結成。勇払千人太鼓の指導者のもとで研さんを積



勇壮な追分ぶき太鼓の演奏

み、現在では小中学生を中心に練習に励み、他市町村の団体との交流を深めながら技を磨いています。

祝賀会では、民謡やひまわりコーラスなどの出演があり、保存会のメンバーによる太鼓演奏も披露。最後に発足当時から指導や運営に関わってきた高橋克美さんに花束が贈呈されました。